



## とまる 黒谷和紙作家 ハタノワタル展

2021年10月8日(金)–10月17日(日)  
代官山ヒルサイドテラス・ヒルサイドフォーラム

題字: ハタノワタル / 写真: KEI OKANO

gallery ON THE HILL (代官山ヒルサイドテラス内) では、2021年10月8日(金)から17日(日)まで、京都府綾部市を拠点に活動する黒谷和紙作家・ハタノワタルによる個展『とまる』を開催いたします。

1400年の歴史を持つ和紙は、今なお日本の様々な場所で作り続けられています。ハタノさんが拠点とする京都府綾部市は、黒谷和紙の産地です。黒谷和紙は昔ながらの素朴な風合いが魅力で、丈夫で破れにくく長期の保存に適しています。美しさと強さを兼ね備えた黒谷和紙に魅了され、ハタノさんは紙漉き職人として活動するようになりました。現在も紙漉きを行いながら、黒谷和紙を素材とした平面作品の制作から空間のデザイン施工を行う気鋭の作家として、新たな和紙の可能性を追求しています。

ハタノ作品は内に秘めた力強さを感じさせます。代表作である「積み重なったもの」シリーズは、和紙、土、顔料などが幾層にも重ねられ、長い年月をかけて積み重なってきたものの美しさを表現しています。また、数多く手がける無彩色な作品についてハタノさんはこう語ります。

「黒は無意識や想像力を導くような、とても深い色です。闇を見たら怖いと感じるし、そのような恐怖から出てくる創造性があると思います。妖怪を想像したりアイデアが浮かんだり、夜になれば見えてくるもの。そのようなものを黒で表現しています。白は窓の外を見るような、開放していける色。白骨化していく、古びていく、白茶ける、といった風合いを意味した白だと思っています。黒も白も想像のきっかけになれるものを作っていきたいです。」

本展覧会テーマは『とまる』。自分の時間を一度止めて、立ち止まって考えてみようという作家の想いが込められています。会場には無意識や想像力を導く黒い空間の闇を演出し、慌ただしい現代社会に生きる私たちが自分と向き合える場を創出します。

展示販売作品は平面作品「積み重なったもの」シリーズや、天板に和紙を施したテーブルなど。展示コラボレーターとしてニューライトボタリーが照明協力を行います。

変化の激しい時代だからこそ少しでも時間を止めて、自分自身の想像力に出会える展覧会になることを期待しています。

## 展覧会概要

---

タイトル： **とまる** 黒谷和紙作家 ハタノワタル展  
会期： 2021年10月8日(金)ー10月17日(日) ※作家在廊日：8日、9日  
開場時間： 11:00～19:00 ※最終日は17:00まで  
入場料： 無料  
会場： 代官山ヒルサイドテラス・ヒルサイドフォーラム gallery ON THE HILL  
〒150-0033 東京都渋谷区猿楽町18-8 ヒルサイドテラスF棟1F  
主催： 一般社団法人オンザヒル  
協力： ヒルサイドテラス  
照明： ニューライトポタリー  
写真： 岡野圭  
展示販売作品： 平面作品、家具、小箱、和紙

[www.galleryonthehill.com](http://www.galleryonthehill.com)

※新型コロナウイルス感染症の影響により、予定が変更になる可能性があります。最新情報はHPでご確認ください。

## 作家プロフィール

---

### ハタノワタル (黒谷和紙作家) | Wataru HATANO



'71 淡路島に生まれる  
'95 多摩美術大学絵画科油画専攻卒  
'97 黒谷和紙研修生となる  
'00 黒谷和紙漉き師として独立  
'07 京もの認定工芸師となる

工芸のフィールドを中心に活動する傍ら、和紙を使った空間をデザイン、施工をする。また国内外で展覧会を重ね、和紙の魅力を伝える一方、アート活動も並行して行う。

海外展覧会：小慢(台湾)、元白(中国)、Porch Gallery(アメリカ)、La Maison des Arts Contemporains、  
Le sentiment des choses(フランス)、Maud and Mabel(イギリス)など

国内での所属ギャラリー：ギャラリーやまほん、桃居、fuuro、kit、evameva、ギャラリーM2他

主な施工：Log onomichi、Hotel tou、京都小慢、日本橋高島屋、城崎温泉木屋町小路外壁、他多数

現在、大阪南船場にてハタノのアートに特化した hatanowataru gallery を準備中

[www.hatanowataru.org](http://www.hatanowataru.org)

[www.instagram.com/hatanowataru](https://www.instagram.com/hatanowataru)

### ニューライトポタリー (ライティングデザインユニット) | NEW LIGHT POTTERY

奈良を拠点に活動する永富裕幸+奈良千寿による照明デザインユニット。照明プロダクトと空間の照明デザインを行き来しながら、あるべき光の在り方を追求する。

[www.newlightpottery.com](http://www.newlightpottery.com)

## オンライントーク

黒谷和紙作家のハタノワタルさんと、ゲストにデザイナーの皆川明さんをお迎えし、テーマ「とまるー立ち止まって考える」について語ります。モデレーターを建築家の榊田倫之さんが務めます。

- テーマ : 「とまるー立ち止まって考える」  
日時 : 2021年10月9日(土) 16:00～17:30  
参加費 : 無料  
出演 : ハタノワタル(黒谷和紙作家)、皆川明(デザイナー)  
モデレーター: 榊田倫之(建築家)



### 皆川明 (デザイナー) | Akira MINAGAWA

1995年にブランド minä perhonen (2003年までは minä) 設立。手作業によって描かれた図案から作るオリジナルテキスタイルによるファッション、インテリアの製作を手がける。産地の生産者との協業、共存を土台とし長く愛用されるものづくりを続けている。

個人の活動としては国内外の様々なブランドと多様な領域のデザインで協業する傍ら新聞や書籍への挿画、宿のディレクションなどにも携わる。



### 榊田 倫之 (建築家) | Tomoyuki SAKAKIDA

2008年株式会社新素材研究所設立、2013年より同社代表取締役所長、杉本博司のパートナーアーキテクト。現在、京都芸術大学非常勤講師。2020年より宇都宮市公認大谷石大使就任。第28回BELCA賞受賞。主な作品に、MOA美術館改修(2017)、小田原文化財団江之浦測候所(2017)清春芸術村ゲストハウス和心(2019)、小田垣商店(2021)等がある。2021年、初の作品集「Old Is New 新素材研究所の仕事」(平凡社)を出版。

写真: Masahiro Sambe

オンライン配信についてはHPをご確認ください

[www.galleryonthehill.com](http://www.galleryonthehill.com)

※YouTubeチャンネルから配信予定 ([www.youtube.com/channel/UC9VQ5xisgAaT1Wvj9a4-Q](https://www.youtube.com/channel/UC9VQ5xisgAaT1Wvj9a4-Q))

※ 予約なしでもどなたでもご覧いただけます

参考作品

---



「積み重なったもの」シリーズ

---

本展覧会に関するご質問や、掲載・取材等のお問い合わせは下記にご連絡をお願いします  
一般社団法人オンザヒル（担当：清武、菅） [info@galleryonthehill.com](mailto:info@galleryonthehill.com)